

第3章－1 快適な空気をつくる・・・ダイキンの取り組みとは？

私にとって「ダイキン」というと、業務用エアコンの会社というイメージが強いんですね。ところが、東上線の電車内広告のキャッチコピーは、「空気で答えを出す会社」。日本だけでなく世界中の人々の「不快」という課題を解決しようと、ダイキンは果敢にチャレンジしているそうです。いったい、どのようにチャレンジしているのでしょうか？ みんなと一緒に学んでいきたいと思います。

- * 両面刷りで印刷し、左端2ヶ所をホチキス留めしてください。
 - ・ モノクロ印刷でOKです。
 - ・ ロイロノートに読み込んで利用することも可能です。
- * 指示があってから解答を始めてください。・・・勝手に先に進まないこと
- * 解答は指示がない限り各ページ下の余白部に書き込んでください。
- * 下の教科書の関連ページ、予習用課題の解答の前にさらっと一読してください。

- 教科書 p.60～67
- 資料集 p.40～47
- 第3章の情報

https://seifu.sakura.ne.jp/kawako/2025/chirisou/#dai_3shou



(県立川越高校で使用している教材)

帝国書院：高等学校 新地理総合

帝国書院：新詳高等地図

帝国書院：新詳地理資料 COMPLETE 2025

1節 気候について考えよう・・・気候要素と気候因子

生徒：ダイキンは「空気で答えを出す会社。」がコンセプトだそうですね。170 を超える国々でダイキンの空調機器が使われているそうです。ということは、世界中のさまざまな気候について知る必要があるのではないのでしょうか？

先生：その通りです。第3章の最初に、気候について系統的に学習していきましょう。

* ダイキンの「170 を超える国々で 空気で答えを出す会社。」

<https://www.daikin.co.jp/air/technology/global>



問1 教科書 p.60～1 「1 気温・降水と人々の生活」を読んで考えよう。

- (i) 気候を構成する要素を (a) といい、(b)、(c)、(d) や気圧、湿度は代表的な (a) です。
- (ii) 気候要素の分布に影響を与える要因のことを (a) といいます。(a) のうち代表的なものが (b) で、このほかには (c)、(d)、(e) などがあります。

問2 地図帳 p.143 の「①世界の気温と降水量 全年」を見て考えよう。

- (i) 東京の年平均気温は (a) °C以上 (b) °C未満, 年降水量は (c) mm 以上 (d) mm 未満であることがわかります。
- (ii) 年平均気温 0°C, 10°C, 20°Cの等温線をなぞりなさい。
- (iii) 海洋部に注目すると, 等温線は () とほぼ平行になっていることがわかります。
- (iv) スカンディナヴィア半島西側の大西洋に注目すると, 0°Cの等温線は (高緯度・低緯度) 側に大きく湾曲していることがわかります。
- (v) 南アメリカ大陸の西部に注目すると, 20°Cの等温線は (高緯度・低緯度) 側に大きく湾曲していることがわかります。
- (vi) 年降水量が 2000mm 以上の地域は, () 付近に多いことがわかります。
- (vii) 年降水量が 250mm 未満の地域は, どんなどころに見られるでしょうか。いくつかあげなさい。

問3 地図帳 p.144 「④世界の気温の年較差と降水量の季節変動」を見て考えよう。

- (i) 気温の年較差とは, (a : 最暖月平均気温・最寒月平均気温) から (b : 最暖月平均気温・最寒月平均気温) を引いたものをいいます。
- (ii) 東京の気温の年較差は, (a) °C以上 (b) °C未満であることがわかります。
- (iii) 気温の年較差は, 一般に (a : 低緯度・高緯度) 地域で大きく, (b : 海洋部・大陸部) で大きい傾向が読み取れます。
- (iv) ロシアのうち (a) 山脈よりも東側の (b) には, 気温の年較差が 60°C以上の地域があることがわかります。
- (v) 東京の降水量の季節的変動は () であることがわかります。
- (vi) 世界の降水量の季節的変動を見ると, 多くは (a : 夏に集中・冬に集中) していることがわかります。一方, (b : 夏に集中・冬に集中) している地域は, ヨーロッパとアフリカを隔てる (c) 海沿岸や南北アメリカ大陸の (d : 西岸・東岸), アフリカ大陸の (e : 西岸・東岸), オーストラリア大陸の (f : 西岸・東岸) に分布しています。